

科目名	アジアの観光事情	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）
			国際観光学科 □必修 ■選択 学科 □必修 □選択
英文表記	Sightseeing circumstances of Asia.	開講年次	■1年 □2年 □3年 □4年
ふりがな	よこた けいざぶろう	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	横田 恵三郎	修得単位	2単位
授業のテーマ	アジア諸国を“観光資源”を切り口に各国・地域の歴史、文化、民族、社会等の知識を得ることが出来る。		
到達目標	各国・地域各々の特長を説明することが出来るようになる。		
授業概要	本講義では、各国の地勢をまず把握したうえで当該国・地域に係わる一般基礎データを確認し、押さえておくべき代表的な観光資源について画像・映像をも活用しながら紹介していく。アジア各国は夫々特長ある歴史、文化、社会、宗教を有しており、各々の特長を具体的な事例を交えながらアジアの多様性を学んでいく。相互理解が深まるよう台湾、韓国からの留学生に発表の機会を設けることを考えている。		
授業計画			
第1回	ガイダンス アジアとは 地勢の概要(位置、国名、首都等)		
第2回	マレーシアの観光事情		
第3回	シンガポールの観光事情		
第4回	インドネシアの観光事情		
第5回	タイの観光事情		
第6回	ベトナムの観光事情		
第7回	カンボジアの観光事情		
第8回	フィリピンの観光事情		
第9回	香港・マカオの観光事情		
第10回	インドの観光事情		
第11回	ネパール・ブータンの観光事情		
第12回	台湾の観光事情（留学生による発表と講義）		
第13回	韓国の観光事情（留学生による発表と講義）		
第14回	中国の観光事情		
第15回	まとめ		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	復習した上で自分なりに更にその国・地域の特長を掘り下げること(1.5時間程度)		
履修条件 受講のルール	アジアに興味があり理解を深めたいという意思を持っていること、また将来、観光系企業に進みたいと思っている学生は履修が望ましい。特に1年生の履修を薦めます。		
テキスト	毎回授業に関連するプリントを配付します。		
参考文献・資料	授業中に紹介します。		
成績評価の方法	定期試験・小テスト50%、取組姿勢・授業態度50%とし総合的に評価します。		
オフィスアワー	水曜日：9:00-11:30、木曜日：9:00-11:30		
成績評価基準	平成28年度（2016）以降入学した学生 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 平成27年度（2015）以前に入学した学生 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。		
学生へのメッセージ	現在、訪日外国人旅行者のなんと約80%がアジアからの人々です。皆さんが卒業後どのような業界に進んでもアジアの国々（人々）との関係は今後益々深まっていきます。将来に備えてアジア各国・地域の基本		

	的事項を知識として保有しておくことが大事です。日頃から興味を持ってテレビや雑誌、Web 等各種メディアを通じてそれら知識の吸収を積み重ね、視野の広い人間に成長しましょう。
--	---